# % 和此代数.

干巾し(i2) 102B. まで 二項金型神文.

#### 95 C

白玉1個,赤玉2個,青玉4個がある.

- (1) これらを円形に並べる方法は何通りあるか.
- (2) これらで何通りのネックレスができるか.

#### 96 C

円周上にn個の点 $P_1$ ,  $P_2$ ,  $\cdots$ ,  $P_n$  があり、これらを結ぶ異なる2本の弦の組を考える。ただし $n \ge 4$  とする。1 つの端点を共有する2本の弦の組の個数を $a_n$ , 共有点のない2本の弦の組の個数を $b_n$  とするとき、 $a_n = b_n$  となるようなn の値を求めよ。

#### 入試問題にチャレンジ (12)

生徒 14 人から 2 人ずつの組を n 組  $(n=1,\ 2,\ 3,\ \cdots,\ 7)$  作る作り方を  $S_n$  とする.

- (1)  $S_n$  を n の式で表せ.
- (2)  $S_n$  を最大にする n をすべて求めよ.

(2005・神戸大学)

n 個の点  $P_1$ ,  $P_2$ ,  $\cdots$ ,  $P_n$  から 3 個の点を選び,その 3 点を結んで得られる三角形 T について考える。

ここで、三角形 T の 3 辺のうち、2 辺を選ぶと 1 つの端点を共有する 2 本の弦ができる.

したがって.

さらに、n 個の点  $P_1$ ,  $P_2$ ,  $\cdots$ ,  $P_n$  から 4 個の点を選び、その 4 点を結んで得られる四角形 S について考える。

ここで、四角形 S において、共有点をもたない 2 辺の組合せは 2 通りある。

したがって,

$$b_n = {}_n\mathrm{C}_4 \times 2$$
 
$$= \frac{1}{12} n(n-1)(n-2)(n-3). \qquad \cdots \ 2$$
 ①, ②より,  $a_n = b_n$  が成り立つ条件は, 
$$\frac{1}{2} n(n-1)(n-2) = \frac{1}{12} n(n-1)(n-2)(n-3)$$
 なので,  $n \ge 4$  より,

$$n - 3 = 6$$
.

よって、求めるnの値は、

#### 入試問題にチャレンジ (12)

生徒 14 人から 2 人ずつの組を n 組  $(n=1,\ 2,\ 3,\ \cdots,\ 7)$  作る作り方を  $S_n$  とする.

- (1)  $S_n$  を n の式で表せ.
- (2)  $S_n$  を最大にする n をすべて求めよ.

(2005 · 袖百大学)

(1)  $S_n$  の定め方より、

$$S_n = {}_{14}C_2 \cdot {}_{12}C_2 \cdot \cdot \cdot {}_{14-2(n-1)}C_2 \div n!$$

$$= \frac{14 \cdot 13 \cdot \cdot \cdot (16-2n)(15-2n)}{2^n \cdot n!}$$

$$= \frac{14!}{2^n \cdot n!(14-2n)!}.$$

(2)  $I_n = 2^n \cdot n!(14 - 2n)!$  とすると, (1) の結果より,  $S_n$ が最大  $\iff I_n$  が最小

が成り立つ.

また、 $1 \le n \le 6$  のとき、

$$I_{n+1} - I_n = 2^{n+1}(n+1)!(12-2n)! - 2^n \cdot n!(14-2n)!$$

$$= 2^n \cdot n!(12-2n)!\{2(n+1) - (14-2n)(13-2n)\}$$

$$= 2^n \cdot n!(12-2n)!(-4n^2 + 56n - 180)$$

$$= 2^n \cdot n!(12-2n)!\{-4(n-5)(n-9)\}$$

であるから,

$$\left\{egin{array}{ll} 1 \leq n \leq 4\, arOmega \, \xi \, eta, & I_{n+1} - I_n < 0, \ n = 5\, arOmega \, \xi \, eta, & I_{n+1} - I_n = 0, \ n = 6\, arOmega \, \xi \, eta, & I_{n+1} - I_n > 0. \end{array}
ight.$$
  $\left\{egin{array}{ll} I_1 > I_2 > I_3 > I_4 > I_5, \ I_5 = I_6, \ I_6 < I_7 \end{array}
ight.$ 

これより.

$$\begin{cases}
I_1 > I_2 > I_3 > I_4 > I_5, \\
I_5 = I_6, \\
I_6 < I_7
\end{cases}$$

であるから、 $I_n$  は n=5、6 のとき、最小となる.

したがって、 $S_n$  を最大にする n の値は、

$$n = 5, 6.$$

# 第13講

# 場合の数(3)

#### 1 二項定理

 $(a+b)^n$  を展開することを**二項展開**といい,正の整数 n については,

$$(a+b)^n = {}_nC_0a^n + {}_nC_1a^{n-1}b + \dots + {}_nC_{n-1}ab^{n-1} + {}_nC_nb^n$$

と展開できる。この展開公式を**二項定理**, $_{n}\mathbf{C}_{r}a^{n-r}b^{r}$  を展開式の一般項という。係数  $_{n}\mathbf{C}_{r}$  は**二項係数**という。

#### 2 多項定理

一般に、 $(a+b+c)^n$  を展開したときの項

$$a^p b^q c^r$$
  $(p+q+r=n)$ 

の係数は,

$$\frac{n!}{p!q!r!}$$

#### 3 重複組合せ

異なるn種類のものから重複を許してr個取り出す組合せを**重複組合せ**といい、 $_{n}\mathbf{H}_{r}$ と書く. ここで、

$$_{n}\mathbf{H}_{r} = _{n+r-1}\mathbf{C}_{r}$$

が成り立つ.

97 A

 $(x+y)^{10}$  の展開式における  $x^4y^6$  の係数を求めよ.

9 7 A

98 A

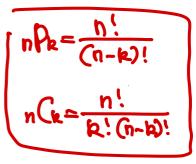
 $11^{11}$  を 100 で割ったときの余りを求めよ.

9 8 A 11

99 A

等式 $6 \cdot {}_n C_3 - n \cdot {}_n P_2 + 144 = 0$ を満たす3以上の整数nの値を求めよ.

9 9 A n = 9



100 B

(1) 
$$\left(2x^2 - \frac{1}{x}\right)^6$$
 の展開式における定数項を求めよ.

(2)  $(x^2 + x + 1)^5$  の展開式における  $x^5$  の係数を求めよ.

100B (1) 60 (2) 51

101 B

次の条件を満たす整数x, y, z の組は何通りあるか.

- (1) x + y + z = 10,  $x \ge 0$ ,  $y \ge 0$ ,  $z \ge 0$
- (2) x+y+z=10, x>0, y>0, z>0

101B (1) 66 (2) 36

102 B

1 から n までの番号が 1 つずつ書かれた n 枚のカードがある. 次の条件を満たすように 左から右に n 枚を並べる場合の数を C(n) とする.

(条件) 1 からn までのすべての自然数k について、左からk 番目に 番号k のカードがこない.

- (1) C(4) を求めよ.
- (2) C(6) を求めよ.
- (3)  $n \ge 3$  を満たす自然数 n に対して, $C(n+2) = (n+1)\{C(n) + C(n+1)\}$  が成り立つことを証明せよ.

| 102B | (1) 
$$C(4) = 9$$
 (2)  $C(6) = 265$  (3) 略

# 2019 年度 FG 数学 IAIIB 【解答】 1 3 講

9 7 A 210

【解法】

9 8 A 11

【解法】

 $9 9 A \quad n = 9$ 

【解法】

100B (1) 60 (2) 51

【解法】

101B (1) 66 (2) 36

【解法】

102B (1) C(4) = 9 (2) C(6) = 265 (3) 略

【解法】

#### 103 C

- (1)  $n \ge 2$ ,  $1 \le k \le n-1$  のとき,等式  ${}_n \mathbf{C}_k = {}_{n-1} \mathbf{C}_{k-1} + {}_{n-1} \mathbf{C}_k$  が成り立つことを証明 せよ.
- (2) 等式  $k_n C_k = n_{n-1} C_{k-1}$   $(k=1, 2, 3, \cdots, n)$  が成り立つことを証明せよ.
- (3) 自然数n に対して,等式 $_n$ C $_1+2\cdot _n$ C $_2+3\cdot _n$ C $_3+\cdots +n\cdot _n$ C $_n=2^{n-1}\cdot n$  が成り立つことを証明せよ.

#### 104 C

自然数nをそれより小さい自然数の和として表すことを考える。ただし、1+2+1と1+1+2のように和の順序が異なるものは別の表し方とする。例えば、自然数2は1+1の1通りの表し方ができ、自然数3は、

$$2+1$$
,  $1+2$ ,  $1+1+1$ 

の3通りの表し方ができる。2以上の自然数nの表し方は何通りか。

#### 入試問題にチャレンジ (13)

 $\left(x-rac{x^2}{2}+y^2-2y^3
ight)^{10}$  を展開して得られる x, y の多項式について,次数が 12 である項の係数の和を求めよ.

(2009・群馬大学)

# [3つかのまでの補足

Marronier® 第8章 - 項定理 p 43

# 第 ❷ 章 二項定理

《学習項目》

.

# 爲問題

#### A 8 - 1

- $(1)_n C_r + {}_n C_{r+1} = {}_{n+1} C_{r+1}$  を証明せよ。
- (2)  $k \cdot {}_{n}C_{k} = n \cdot {}_{n-1}C_{k-1}$ を証明せよ。

#### A 8 - 2

次の式の展開式における,[]内に指定した項の係数を求めよ。

$$(1) \quad \left(x^3 + \frac{2}{x}\right)^7 \left[x^5\right]$$

(2) 
$$\left(2x^3 - \frac{1}{3x^2}\right)^5$$
 [定数項]

#### A 8 - 3

 $(x-y+3z)^5$  の展開式における  $xy^2z^2$  の項の係数を求めよ。

#### A 8 - 4

次の式を簡単にせよ。

(1) 
$$_{n}C_{0} + _{n}C_{1} + _{n}C_{2} + \cdots + _{n}C_{r} + \cdots + _{n}C_{n}$$

(2) 
$${}_{n}C_{0} - {}_{n}C_{1} + {}_{n}C_{2} - \cdots + (-1)^{r}{}_{n}C_{r} + \cdots + (-1)^{n}{}_{n}C_{n}$$

# 圖問題

#### B 8 - 1

次の式を簡単にせよ。

(1) 
$$_{2n}C_0 + _{2n}C_2 + _{2n}C_4 + \cdots + _{2n}C_{2r} + \cdots + _{2n}C_{2n}$$

(2) 
$$_{2n}C_1 + _{2n}C_3 + _{2n}C_5 + \cdots + _{2n}C_{2r-1} + \cdots + _{2n}C_{2n-1}$$

# B 8 - 2

$$_{n}C_{1}+2_{n}C_{2}+3_{n}C_{3}+\cdots\cdots+n_{n}C_{n}$$
を計算せよ。

#### B 8 - 3

次の式を計算せよ。  $\sum_{k=0}^{n} \frac{{}_{n}C_{k}}{k+1}$ 

# C問題

## C 8 - 1

二項定理を用いて、次の不等式が成り立つことを証明せよ。ただし、n は 2 以上の整数とする。

$$(1) \quad \left(1 + \frac{1}{n}\right)^n > 2$$

(2) 
$$(1+x)^n \ge 1 + nx + \frac{n(n-1)}{2}x^2 \ (x > 0)$$

$$_{n}C_{k}a^{k}b^{n-k}$$

$$(a+b)^n$$
を展開したときの一般項は、
 ${}_n\mathbf{C}_ka^kb^{n-k}$ 
ただし、 $k$ は $0 \le k \le n$ なる整数とする。
(注)  $(a+b)^n = \sum_{k=0}^n {}_n\mathbf{C}_ka^kb^{n-k} = \sum_{k=0}^n {}_n\mathbf{C}_ka^{n-k}b^k$  と表せる。

[例]  $(a+b)^5$  を展開したときの、 $a^2b^3$  の係数

$$(a+b)(a+b)(a+b)(a+b)(a+b)$$

$$aabbb = a^{2}b^{3}$$

$$ababb = a^{2}b^{3}$$

$$bbbaa = a^{2}b^{3}$$

《補足》 a=x, b=1 とおくと,

$$(x+1)^n = \sum\limits_{k=0}^n {_n\mathbf{C}_k \cdot x^k \cdot 1^{n-k}} = \sum\limits_{k=0}^n {_n\mathbf{C}_k \cdot x^k}$$

$$\therefore (x+1)^n = {}_{n}C_0 + {}_{n}C_1 x + {}_{n}C_2 x + {}_{n}C_3 x + \cdots + {}_{n}C_{1-} x^{n-1} x^{n-1} + {}_{n}C x$$

#### 多項定理

$$(a+b+c)^n$$
を展開したときの一般項は, $\frac{n!}{\alpha! \ \beta! \ \gamma!} a^{\alpha} b^{\beta} c^{\gamma}$ 
ただし, $\begin{cases} \alpha+\beta+\gamma=n & \leftarrow 合計n乗 \\ 0 \leq \alpha, \ \beta, \ \gamma \leq n & \leftarrow ゼロ乗から $n$ 乗まで$ 

【証明】

$$(a+b+c)^{n} = \{a+(b+c)\}^{n}$$

$$= \sum_{k=0}^{n} {}_{n}C_{k}a^{k}(b+c)^{n-k}$$

$$= \sum_{k=0}^{n} {}_{n}C_{k}a^{k} \left(\sum_{l=0}^{n-k} {}_{n-k}C_{l}b^{l}c^{(n-k)-l}\right)$$

$$= \sum_{k=0}^{n} \left(\sum_{l=0}^{n-k} {}_{n}C_{k}\cdot_{n-k}C_{l}\cdot a^{k}b^{l}c^{n-k-l}\right)$$

ここで、 $k=\alpha$ ,  $l=\beta$ ,  $n-k-l=\gamma$  とおくと、 $0 \le k \le n$ ,  $0 \le l \le n-k$  より  $\alpha+\beta+\gamma=n$ ,  $0 \le \alpha,\beta,\gamma \le n$ 

および,

$$a^{k}b^{l}c^{n-k-l} = a^{\alpha}b^{\beta}c^{\gamma}$$

$${}_{n}C_{k} \cdot {}_{n-k}C_{l} = \frac{n!}{k!(n-k)!} \times \frac{(n-k)!}{l!(n-k-l)!} = \frac{n!}{\alpha!\beta!\gamma!}$$

が成り立つので、これで証明できたことになります。■

#### **A8・1** 次の等式を証明せよ。

$$(1) \quad {}_{n-1}C_{r-1} + {}_{n-1}C_r = {}_{n}C_r$$

$$(\stackrel{\cdot}{\Xi}) \qquad {}_{n}C_{r} = \frac{n!}{r! \cdot (n-r)!} \quad , \quad {}_{n}P_{r} = \frac{n!}{(n-r)!}$$

$$\boxed{n! = n \cdot (n-1)!}$$

$$= \frac{(n-1)!}{(r-1)! \cdot \{(n-1) - (r-1)\}!} + \frac{(n-1)!}{r! \cdot \{(n-1) - r\}!}$$

$$= \frac{(n-1)!}{(r-1)! \cdot (n-r)!} + \frac{(n-1)!}{r! \cdot (n-r-1)!}$$

$$= \frac{r \cdot (n-1)!}{r! \cdot (n-r)!} + \frac{(n-r) \cdot (n-1)!}{r! \cdot (n-r)!} \quad \leftarrow (n-r)! = (n-r) \times (n-r-1)! \quad . \quad r! = r \times (r-1)!$$

$$= \frac{(n-1)! \cdot \{r + (n-r)\}}{r! \cdot (n-r)!}$$

$$= \frac{(n-1)! \cdot n}{r! \cdot (n-r)!}$$

$$= \frac{n!}{r! \cdot (n-r)!}$$

$$= \frac{n!}{r! \cdot (n-r)!}$$

#### **A8・4** 次の和を求めよ。

$$(1)_{n}C_{0} + {}_{n}C_{1} + {}_{n}C_{2} + \cdots + {}_{n}C_{n}$$

$$(2)_{n}C_{0} - {}_{n}C_{1} + {}_{n}C_{2} - \cdots + (-1)^{n}_{n}C_{n}$$

 $[_{n}C_{\blacktriangle}$ の和 $\Rightarrow (x+1)^{n}$ 利用]

#### <u>二項定理より</u>

$$(x+1)^n = {}_{n}C_0 + {}_{n}C_1 x + {}_{n}C_2 x^2 + {}_{n}C_3 x^3 + \dots + {}_{n}C_{n-1} x^{n-1} + {}_{n}C_n x^n + \dots$$
 (\*)

#### (\*) に x = 1 を代入して

$$_{n}C_{0} + _{n}C_{1} + _{n}C_{2} + _{n}C_{3} + \cdots + _{n}C_{n-1} + _{n}C_{n} = (1+1)^{n} = 2^{n}$$
 ···(1) の答

#### (\*) にx = -1を代入して

$$_{n}C_{0} - _{n}C_{1} + _{n}C_{2} - _{n}C_{3} + \cdots + (-1)^{n-1} _{n}C_{n-1} + (-1)^{n} _{n}C_{n} = (-1+1)^{n} = 0$$

…(2)の答

#### **B8・1** 次の和を求めよ。

$$(1) _{2n}C_0 + _{2n}C_2 + _{2n}C_4 + \dots + _{2n}C_{2n}$$

$$(2)$$
  $_{2n}C_1 + _{2n}C_3 + _{2n}C_5 + \cdots + _{2n}C_{2n-1}$ 

# 

#### 二項定理より

$$(x+1)^{2n} = {}_{2n}C_0 + {}_{2n}C_1 x + {}_{2n}C_2 x^2 + {}_{2n}C_3 x^3 + \dots + {}_{2n}C_{2n-1} x^{2n-1} + {}_{2n}C_{2n} x^{2n} \dots (*)$$

# <u>(\*) にx=1を代</u>入して

$$_{2n}C_0 + _{2n}C_1 + _{2n}C_2 + _{2n}C_3 + \dots + _{2n}C_{2n-1} + _{2n}C_{2n} = (1+1)^{2n} = 2^{2n}$$
 ...  $\bigcirc$ 

#### (\*) に x = -1 を代入して

$$_{2n}C_{0} - _{2n}C_{1} + _{2n}C_{2} - _{2n}C_{3} + \cdots - _{2n}C_{2n-1} + _{2n}C_{2n} = (-1+1)^{2n} = 0$$
 ...②

(1) 
$$_{2n}C_0 + _{2n}C_2 + _{2n}C_4 + \cdots + _{2n}C_{2n}$$
 を求める [偶数のみ] 
$$\frac{\{ \textcircled{1} + \textcircled{2} \} \times \frac{1}{2}}{2} \quad \text{より [奇数を消去]}$$
  $_{2n}C_0 + _{2n}C_2 + _{2n}C_4 + \cdots + _{2n}C_{2n} = \frac{1}{2} \times (2^{2n} + 0) = \frac{1}{2} \times 2^{2n} = \mathbf{2^{2n-1}} \cdots$  (答)

#### **B8 - 2**次の和を求めよ。

$$(1) 1 \cdot_{n} C_{1} + 2 \cdot_{n} C_{2} + 3 \cdot_{n} C_{3} + \dots + n \cdot_{n} C_{n}$$

 $[_{n}C_{\blacktriangle}$ の和⇒ $(x+1)^{n}$ 利用]

#### 二項定理より

$$(x+1)^n = {}_{n}C_0 + {}_{n}C_1 x + {}_{n}C_2 x^2 + {}_{n}C_3 x^3 + \dots + {}_{n}C_n x^n \dots (*)$$

(1)

(\*) の両辺をxで微分して、

$$n \cdot (x+1)^{n-1} = 0 + {}_{n}C_{1} \cdot 1 + {}_{n}C_{2} \cdot 2x + {}_{n}C_{3} \cdot 3x^{2} + \dots + {}_{n}C_{n} \cdot nx^{n-1}$$

x=1を代入して、

$$n \cdot (1+1)^{n-1} = 0 + {}_{n}C_{1} \cdot 1 + {}_{n}C_{2} \cdot 2 \cdot 1 + {}_{n}C_{3} \cdot 3 \cdot 1^{2} + \dots + {}_{n}C_{n} \cdot n \cdot 1^{n-1}$$

$$\therefore 1 \cdot_{n} C_{1} + 2 \cdot_{n} C_{2} + 3 \cdot_{n} C_{3} + \dots + n \cdot_{n} C_{n} = \underline{n} \cdot 2^{n-1}$$

## **B8・3** 次の和を求めよ。

$$(2) \frac{{}_{n}C_{0}}{1} + \frac{{}_{n}C_{1}}{2} + \frac{{}_{n}C_{2}}{3} + \dots + \frac{{}_{n}C_{n}}{n+1}$$

(2)

(\*) の両辺をx=0からx=1で定積分して、

$$\int_{0}^{1} (x+1)^{n} dx$$

$$= {}_{n}C_{0} \int_{0}^{1} dx + {}_{n}C_{1} \int_{0}^{1} x dx + {}_{n}C_{2} \int_{0}^{1} x^{2} dx + {}_{n}C_{3} \int_{0}^{1} x^{3} dx + \cdots + {}_{n}C_{n} \int_{0}^{1} x^{n} dx$$

$$\left[ \frac{(x+1)^{n+1}}{n+1} \right]_{0}^{1} = {}_{n}C_{0} \left[ \frac{x^{1}}{1} \right]_{0}^{1} + {}_{n}C_{1} \left[ \frac{x^{2}}{2} \right]_{0}^{1} + {}_{n}C_{2} \left[ \frac{x^{3}}{3} \right]_{0}^{1} + {}_{n}C_{3} \left[ \frac{x^{4}}{4} \right]_{0}^{1} + \cdots + {}_{n}C_{n} \left[ \frac{x^{n+1}}{n+1} \right]_{0}^{1}$$

$$\frac{2^{n+1} - 1^{n+1}}{n+1} = {}_{n}C_{0} \cdot \frac{1}{1} + {}_{n}C_{1} \cdot \frac{1}{2} + {}_{n}C_{2} \cdot \frac{1}{3} + {}_{n}C_{3} \cdot \frac{1}{4} + \cdots + {}_{n}C_{n} \cdot \frac{1}{n+1}$$

$$\therefore \frac{{}_{n}C_{0}}{1} + \frac{{}_{n}C_{1}}{2} + \frac{{}_{n}C_{2}}{3} + \dots + \frac{{}_{n}C_{n}}{n+1} = \frac{2^{n+1}-1}{n+1}$$

#### A 8 - 1

- $(1)_{n}C_{r}+_{n}C_{r+1}=_{n+1}C_{r+1}$  を証明せよ。
- $(2) k \cdot_n C_k = n \cdot_{n-1} C_{k-1}$ を証明せよ。

#### (1) 二項定理により

$$(1+x)^n = {}_{n} C_0 + {}_{n} C_1 x + \cdots + {}_{n} C_r x^r + {}_{n} C_{r+1} x^{r+1} + \cdots + {}_{n} C_n x^n$$

よって、 $(1+x)^n(1+x)$  の展開式における  $x^{r+1}$  の項の係数は

$$_{n}$$
  $C_{r}$  +  $_{n}$   $C_{r+1}$ 

また, 二項定理により

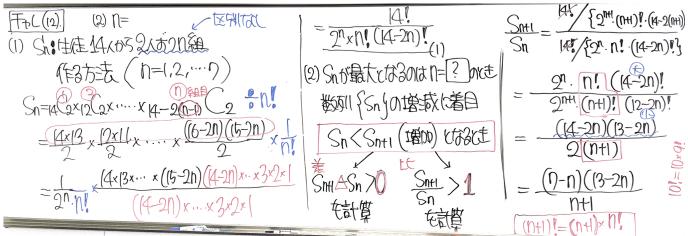
$$(1+x)^{n+1} = {}_{n+1}C_0 + {}_{n+1}C_1x + \cdots + {}_{n+1}C_rx^r + {}_{n+1}C_{r+1}x^{r+1} + \cdots + {}_{n+1}C_{n+1}x^{n+1}$$

ゆえに、 $(1+x)^{n+1}$ の展開式における  $x^{r+1}$  の係数は

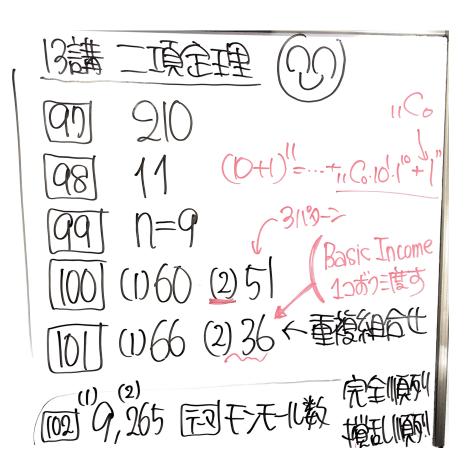
$$_{n+1}C_{r+1}$$

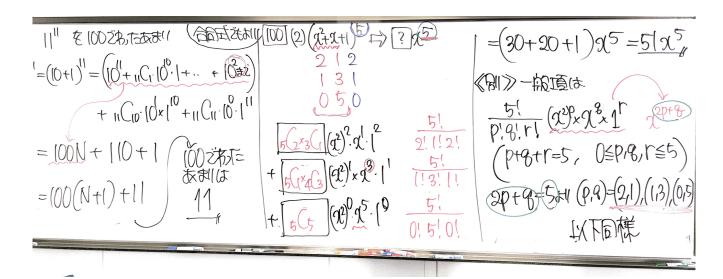
 $(1+x)^n(1+x)=(1+x)^{n+1}$  であるから、両辺の展開式における  $x^{r+1}$  の項の係数は等しい。

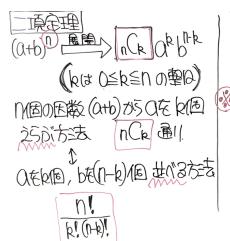
よって 
$${}_{n}C_{r}+{}_{n}C_{r+1}={}_{n+1}C_{r+1}$$

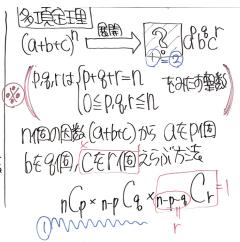


Sn(Sm)  $\Leftrightarrow$  (n-n)(13-2n) > 1 p(n) p(n-1)(n-2n) > 1 p(n) p(n-1)(n-2n) > 1 p(n) p(n-1)(n-2n) > 1 p(n) p(n-1) p(n-2n) > 1 p(n) p(n-2n) p(n) p(n)

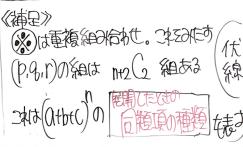












 $\frac{2}{A84}(1) \text{ nCotnCitnC2+...+nCn=?} (2) \text{ nCo-nCitnC2+...+nCn=?} (2) \text{ nCo-nCitnC2-...+(-1)} \text{ nCn=?}$   $\frac{(2) \text{ nCo-nCitnC2-...+(-1)} \text{ nCn=?}}{(2+1)^{2}}$   $\frac{(2+1)^{2}}{(2+1)^{2}} = \sum_{k=0}^{\infty} n(k) \frac{2^{k}}{2^{k}} = n(0+nC) \frac{2^{k}}{2^{k}} + n(0+nC) \frac{2^{k}}{2^{k}}$ 

